

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

- ・期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。
- ・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

【基本的な事項】

様式第3号

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人権・労働	1 【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	求人広告へ掲載時、特定の年齢・性別・人種などの制限なく募集している。定年を迎えた社員については、再雇用の実施。					○			○		○						○	
	2 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	朝と夕方の点呼時にはその日の出来事を報告してもらう。不具合があれば改善へ役員で会議。					○			○								○	
	3 【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	2024年問題により長時間の労働ができなくなり、運送業務量を少し減らして毎日の運行に務める。								○									
	4 【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	取引先にも外国人労働者の方がいることから、日頃からコミュニケーションを取るよう指導しており、理解を持つように指導している。				○				○		○							
	5 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	ヘルメット・安全靴・手袋・安全反射ベスト・夏場はファン付き安全ベストの装着を義務付けており、安全に配慮している。			○					○									
	6 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	朝の点呼時に従業員と会話をし、何か不都合なことがないかヒヤリングを行っている。			○														
	7 【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	どのような人材でも働けるように、最初は必ず同乗を行い、慣れるまでの間は研修期間を設けている。					○			○		○							
	8 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会				○					○									
	9 【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済					○				○	○								
	10 【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済									○		○							

カテ ゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
環境	1【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	廃棄物は廃棄業者に依頼後に処分。ごみの分別を行っている。											○	○		○			
	2【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	unnecessary電力は使用せず、事務所内は大型扇風機を導入しエアコンの稼働率をUPさせている。							○						○				
	3【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	unnecessaryアイドリングの禁止、低燃費走行で運送するよう指導している。							○					○	○				
	4【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	廃棄する場合は産廃屋に依頼後処分をしている。			○			○					○	○					
	5【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	河川の清掃、不法投棄防止などを行い環境汚染に配慮している。						○										○	
	6【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境							○											
	7【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境				○			○	○						○	○	○	○	
	8【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境														○				
	9【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境								○							○			
	10【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境														○	○	○	○	
	11【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境							○						○	○	○	○	○	
公正な事業 慣行	12【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	社則に条項を取り入れ禁止とし、定期的な面談時に再度徹底。																○	
	13【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	価格崩壊が起きないように社員には営業活動をさせない。																○	
	14【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	知的財産を侵害しないように、社則に取り入れ徹底させている。								○	○								
	15【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	金庫・シュレッダー・セキュリティを導入し、個人情報の保護を行っている。																○	
	16【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会																	○	
	17【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害(低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等)の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)のための取組を要請している	応用	社会						○			○		○		○	○	○	○	○	○

カテゴリー	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
28	製品・サービス 【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	運行時の安全確保、安全な輸送ルート確保、全車3か月ごとに定期点検実施を行い安全性を確保。			○									○					
29	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	積み込み時に緩衝材を適切に使用し、輸送時の損傷が無いように指導している。									○								
30	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境							○						○	○	○	○		
31	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	社会貢献・地域貢献 【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	会社周辺への清掃活動、騒音や排気ガスなどの配慮を行っている。				○					○		○	○		○	○		○
33	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会				○							○				○	○		○
34	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用(地産地消、地産外商)を行っている	応用	環境、社会、経済									○	○		○	○	○				
35	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	事務所入り口に禁止事項の掲示、定期的な面談にて再度確認を行っている。																○	
36	【内部管理体制】 ・経営理念(及びSDGsとの関係)・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	事務所入り口に経営理念の掲示、月初めの会議にて再度確認している。								○	○								○
37	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会																	○	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会																	○	
39	組織体制 【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済																	○	
40	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR(Corporate Social Responsibility)の取組を進めている	応用	環境、社会																	○	
41	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会																	○	○
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済										○		○		○			○	

